

生活レベルでのカナダ・日本文化比較

以下の諸点はカナダ人と日本人の生活文化に見られる、一般的な傾向に基づいて観察されるものです。それは全てのカナダ人や日本人に当てはまるものではありませんが、大雑把にはそう言えるだろう、という感じのものと理解してください。

1. 日本人はおつりを引き算で計算し、一まとめで渡します。

カナダ人はおつりを足し算で計算します。(89ドルの物を買うのに100ドル札を出すと、まず「89」と一声かけてから、1ドルを出しながら「90」、さらに10ドル札を加えて、「はい、100ドル」と言ってニコリ笑います)

2. 日本人はゲップよりオナラの方が恥ずかしいものだと考えます。

カナダ人はオナラよりゲップの方が恥ずかしいものだと考えます。(オナラは生理現象でどうにもならないが、ゲップは意思でコントロールできるから)

3. 日本人は相手の気持ちを気づかい、はっきりした表現を避ける傾向があります。

直接的な表現をしなくても、相手が自分の気持ちを察してくれる事を期待するのです。

カナダ人はディベート(議論)する訓練をきちんと受けており、自分が正しいと思うことを明確に表現します。彼らは日本人もそうするはずだと考えます。逆に言うと、カナダ人は日本人が期待するように「気持ちを察する」ことは得意ではありません。人は自分が相手に伝えたいことは、ちゃんと言葉で表現するものだと思っており、日本人相手でも言いたいことを直接的に表現します。日本人留学生とホスト・ファミリーとの間に誤解が生じて、事態がこじれる最大の理由はこの点にあります。だから相手に伝えたいことは、礼儀はきちんと保ちながら、しっかりと表現しましょう。

4. 日本人は家庭を大事にします

お父さんの家族と過ごす時間は非常に短いのが一般的です。お父さんは仕事が忙しすぎ、家庭のことには余り時間をさけないのです。最近の国際的な調査によれば、日本人のお父さんが子どもたちと過ごす時間はとても短いとのこと。夕食もお父さんがいない場合が多いです。言い換えると、日本のお父さんは生活のために、とても長い時間働いているということです。そのかわり、家のことはお母さんが全て取り仕切ります。子どもたちはたくさん勉強することを期待され、ほとんどの子は家の手伝いをすることがありません。

5. カナダ人は非常に家族中心の生活を大事にします。

両親は子育てや家事に共同して当たります。共稼ぎが多いので、子供たちも親を助けるようにしつけられます。夕食時の家族の会話も活発に行われるのが普通です。

このようにカナダ人と日本人の間には、多くの面で大きな違いがあります。

よく知られた諺に「ローマでは、ローマ人のようにせよ(郷に入らば、郷に従え)」というのがあり

ます。留学生の皆さんもそれに習って、「カナダでは、カナダ人のようにせよ」の精神を実行すれば、きっと楽しい留学生活がおくれると思われまます。カナダ人のようにするためには、カナダ人の考え方やライフスタイルについて、もうちょっと知っておくと良いでしょう。

1. 安全に注射ができる場所。

バンクーバー市は麻薬常習者のために、「安全に注射ができる場所」というものを設けました。そこでは麻薬常習者が針の使いまわしをしないように、新しい注射針を与えます。それによってエイズや肝炎などの伝染性の病気を防ごうというわけです。

一体どんな理屈がそこにあるのでしょうか？

市は長い年月の間、法律にのっとり麻薬撲滅の努力をしたにもかかわらず、一向に効果が上がらませんでした。その間に、エイズや肝炎などの病気の治療費はものすごい勢いで上昇しました。そこで市は、麻薬を取り締まるという「とるべき最良の方法」だけに頼らず、治療費を下げるという「次善の策」に取り組むことにしたのです。

カナダ人は比較的理想的な考えをする人々です。しかし、彼らは同時に合理主義者でもあります。カナダ人は理想の実現が不可能だと分かると、そこにとどまって泣きを入れるのではなく、すぐに次善の策を捜します。カナダ人は非常に成熟した、ポジティブな人々です。

2. 謝罪条例。

最近B.C.政府は謝罪条例というものを導入しました。これまでは軽い交通事故や過失によって小さな損害が生じ、責任の所在が明確ではないような場合、謝罪めいた言葉を口にした人に全ての法的責任が負わされました。それは謝罪することによって、その人は全ての非が自分にあると認めたと見なされるからです。時としてそれは訴訟問題にまでなります。だからカナダ人は、簡単な謝罪で片がつくような単純なことでも、必要以上に神経質になり、中々謝ろうとしません。そのために、不必要にことがこじれる場合が多くあります。それは「訴訟社会」がもたらす典型的な副作用です。

その通り。カナダは典型的な訴訟社会の一つです。それはアメリカにおけるほどひどくはありませんが、それでも十分にひどいものです。カナダもアメリカも無から法によって人工的に創られた国民国家です。長い歴史の中で、文化や伝統を共有する人々によって創られた国家ではないのです。極端な言い方をすれば、そこでは法が全てです。法は人々によって創られ、人々はその法を断固として尊重します。だからカナダ・アメリカ人は他の国民、特にアジアの人々と違って、契約や規則や約束などを真剣かつ文字通りに受け取ります。例えば、カナダでは歳より若く見られる日本人は、パスポートを提示して19歳以上であることを証明しないとクラブやバーに入れてもらえません。日本では？ 誰がそんなこと気にするもんですか！

だからカナダでは、ホスト・ファミリーと話し合った上で同意し受け入れたものであれば、ハウス・ルールですら文字通りに守らなくてはなりません。100パーセントの確信がない限り、どんな書類にもサインなどしてはいけません。

3. 敬語

英語にはほんの限られた敬語しかありません。だからカナダ人は他者に対する敬意を、態度や声や顔の表情などによって表します。

4. フレンドリー(人なつっこ)さ。

カナダ人はおそらく世界で最もフレンドリーな人々です。朝の散歩中に通りがかれば、見知らぬ人同士でも、「ハロー」とか「ハーイ」などと言葉を掛け合います。眼が合えばお互いにくこりと笑顔を交わします。

カナダ人はものごとを深刻に考えないのびのびした人々です。彼らは小さなことにこだわったり目くじらをたてたりしません。何よりもカナダ人は良きことを言葉でほめ上げます。「It's great」とか「I love it」などは最もひんぱんに使われる言葉でしょう。

5. 個人主義。

カナダ人の考え方の中で最も重要なものは個人主義です。個人主義とは一人ひとりの個人は同等の価値、即ち人権を持つという考え方です。それはいかなる人に対する差別も苦痛も認めません。全ての人はお互いの意見を尊重するものと考えられます。人々はお互いの意見に注意深くかつ忍耐強く耳を傾けなければならないのです。そのような円滑な人間関係を持つために最も大事なことは、良きマナーやエチケットを守ることです。だからカナダ人は基本的なマナーやエチケットを子どもの幼い頃から教えようと努めるのです。

以上のような文化的特徴を持つカナダ社会を理解した上で、留学生生活を充実したものにするコツは「ポジティブな姿勢」と「会話のための話題作り」です。

充実した留学生活に役立つコツ

1. ポジティブな姿勢。

我々の長い経験から見ると、留学に成功した生徒たちには一つの共通項があります。それは一言で言うと「ポジティブな姿勢」です。日本の家から遠く離れ、異文化の中で「外人」に囲まれての生活をするうちに、生徒たちは多くの異質なものに出くわします。あるものは食事のような大きな違いであり、またあるものは入浴のような小さな違いです。もしもそうしたそれぞれの違いをほじくり出し始め、「とても我慢できない」と感ずるようになり、一つひとつの違いに悩むようになると、その生徒の日常は耐え難いものになります。

しかし成功した留学生は、同じように異文化に直面し、違いによって混乱しながらも、その体験を「異文化を学ぶ貴重な機会」ととらえようと努め、異文化体験を「楽しいもの」にする努力をします。何事にも興味を持つと努め、細かいことにはこだわらないようにするのです。このような快活な姿勢があれば、「楽しくなければ人生じゃない」と考える、「楽しさ第一主義」のカナダ人との交流が確実にできるようになります。そうなればカナダ人との関係を、ちょうど自分の家族のように、深く感ずるようになり始めます。こうして言葉の真の意味で「カナダにおける異文化体験」を楽しめるようになり、より大きく言えば、カナダでの勉強の強固で喜びに満ちた基盤が

作られるようになるのです。

「何事も楽しもう！」。これこそが、実りあるカナダ留学を実現するために、忘れてはならないポジティブな姿勢です。

2. 会話のための話題作り。

カナダ人と英語で会話する機会が少ない、という不満をもらす生徒がよくいます。このような不満の持ち主にはえてして英語力が低い傾向があります。限られた英会話力しかない者が、事前の準備なしに、カナダ人とぶっつけ本番で対話するのはそもそも無理なことなのです。

留学生には会話のための「話題」が絶対に必要です。英語を学んでいる人が話題を作る準備をしなければなりません。何の話題にするかを考え、勉強して考えをまとめ、それを英語に翻訳し暗記しておき、会話のときにそれを使うのです。話題は例えば日本文化であったり、自分自身あるいは家族のことであったり、何でも構いません。話題の中味をどうするか考え、日本語でそれをまとめます。次にそれを日本語に和文英訳します(ほとんどの留学生は英会話力よりも英語の読み書きの方が得意です)。そして、それを声を出して何度も読んで暗記します(自分の書いたものを暗記するのは比較的簡単です)。暗記できたら、それをホスト・ファミリーなどのカナダ人に聞いてもらいます。それに対して、カナダ人は質問をしたり、自分の意見を言うはずで、留学生は、自分の準備した話題についての会話なので、カナダ人の言っていることが驚くほど簡単に聞き取れることに気づくはずで、英会話はこのようになされるべきなのです。その時に、自分の英語の誤りをカナダ人に直してもらってもいいのです。

そうすることで、留学生は今や正しい英語の話題を手に入れることになります。それを暗記するのはたやすいことです。その話題を学校に持って行き、それを一人ずつのクラス・メイトに聞いてもらい、会話をします。それを5~6人を相手にすると、話題で使った全てのセンテンスやフレーズが完全に体に吸収され、自分の血肉となったことに気づくはずで、

「もっと英語で会話をしたい」といくら泣いても何も得られません。しっかりと勉強し準備をしなければなりません。インターネットで夜遅くまで起きていて、ウィーク・エンドは寝てばかり、みたいな生活を改めて、そのための時間を作ってください。「話す前に準備せよ!」、このことを忘れないように!!

Cultural Seminar for Japanese Students

Once in Canada, you will notice many cultural differences from your own country. Here are a few general examples of some of the differences.

Canadian people use addition for giving change.

Japanese people use subtraction for giving change.

Canadians people consider burping is more improper than breaking wind.

Japanese people consider breaking wind is more improper than burping.

Canadian people are educated to debate and express their opinions.

Japanese people often avoid clear expressions (ie. yes/no) which they fear may be offensive. They use indirect expressions (ie. maybe) and hope that the other party can read their mind.

Canadians are very family-oriented, where the father and mother often share child rearing (such as education and guidance) and household responsibilities. It is not unusual for either or both parents to be working. And thus children are taught at a young age to help their parents around the house. Having conversation over dinner with the family is very common.

Japanese people are also family-oriented, however, fathers are unable to spend much time with their families. They are too busy with their work to do domestic duties, according to the recent international survey which indicated that Japanese fathers have little time spent with their children. There are a lot of fatherless dinners.

In other words, Japanese fathers earn money working for long hours to make a living. Japanese mothers cater to everything else at home. Children are supposed to study a lot and for that reason, the majority of children do not help around the house.

Thus, Canadian and Japanese people have quite different culture in many areas.

As a well known proverb "When in Rome, do as Romans do" says, we believe, the best way for you, Japanese students, to enjoy your stay and study in Canada is "**When in Canada, do as Canadians do**".

In order to do as Canadians do, we think, it would be better for you to know a little more of the Canadian way of thinking and lifestyle.

1. Safe Injection Site.

A safe injection site is the place made by the Vancouver City government for drug users. They supply fresh needles so that drug users do not share needles to prevent the transmission of AIDS and other infectious diseases.

What kind of logic do you think was used?

Government had tried to stop drug use by creating laws and regulations for years and years with no positive results. However, the cost of medical treatment for drug users with AIDS and other disease went skyrocketing up. Government gave up the best solution (extermination of drug) and tried to accomplish the second best solution (lowering the medical cost).

Canadian people are comparatively idealistic; however, they are at the same time rationalists. **Once they realize it is impossible to accomplish ideal, they do not stop there crying and try to find the next best solution.** In other words, Canadians are quite mature and positive people.

2. Apology Act

The B.C. government recently introduced the Apology Act. Saying sorry in the disputable occasions such as minor traffic accident or unintentional minor damage used to result in legal liabilities. The person who said sorry used to carry all liabilities because the person was considered to admit everything was their fault by saying sorry and sometimes got sued. Therefore, Canadians are apt to act overcautiously even in case of easy occasions when simple apology can solve the problems. It is one of the typical side effects of a "Sue society".

Yes, **Canada is one of the typical sue societies.** It is not as bad as in the USA, but still bad enough. Both Canada and America are the nation states which were artificially created by laws from scratch. They are very much different from the countries where people who shared cultures and traditions created them in the long histories.

Extremely speaking, law is everything. The law was created for the people and the people committed to respect law. **People, therefore, take contracts, rules and promises much more seriously and straightforwardly than particularly Asian people do.** For example, younger looking Japanese students are refused from clubs and bars unless they prove that they are 19 years or older by showing their passports. In Japan? Who cares!

Please note that you must respect even house rules of host families once you agreed with and accepted them. Please do not sign any papers or documents unless you are 100% sure.

3. Honorific words

English has very limited honorific expressions. Canadian try to show their respect to the others by manner, voice tone, facial expression and so forth.

4. Friendliness

Canadians are probably the most friendly people in the world. Two strangers say “hello” or “Hi” to each other when they pass by during a morning walk. They smile at each other when their eyes happened to meet.

Canadian people are easy-going. They are neither picky nor nasty for trifle matters. And above all, they praise good things with words. **“It’s great”** and **“I love it”** might be the words most frequently used.

5. Individualism

The most important factor of Canadian way of thinking is individualism. **It claims that each and every individual has equal value which can be translated as a human right.** It refuses discrimination and harassment against anybody. Everybody is supposed to respect each other’s opinion. They have to listen to each other very carefully and patiently. In order to have that kind of smooth human relationship, **the most important things are good manners and etiquette.** Therefore, Canadian people try to teach basic manners and etiquette to their children from a young age.

Once you have understood the cultural differences mentioned above, having a positive attitude and creating topics of conversation are important points to having a fulfilling student life.

Key Points to Having a Fulfilling Student Life

1. Positive attitude

Through our years of experience, we see a common theme among the successful students. It is in a nutshell, “a positive attitude.” Away from your home in Japan, living among the “foreigners” in a different culture, you are met with many differences. Some are like food and meals (major difference), and others are like bathing (minor difference). If you start to knit pick each one of such differences and feel “Oh I can’t stand it,” and become too concerned about each difference, then you will suffer through everyday life.

However, the successful students, in spite of facing the same cultural differences and feeling somewhat confused about those differences, will try to put those differences into **“precious opportunities to learn cross-cultural aspects”** and **they will try to find ways to make the cross-cultural experiences “enjoyable.”** Try to be interested in everything, and be content not to know all the small details. If you can have this cheerful attitude, you will surely be able to connect with Canadians, who

are known as **“fun-loving”** with their **“life is too precious not to have fun” mentality.** Then you and the Canadians will begin to feel closely related, just like a family member. You will enjoy your cross cultural life in Canada in a more true sense, and in a more tolerant way, until this will become a strong and joyful foundation for your study in Canada.

“Have fun with everything!” This is the positive attitude you must remember for a fruitful study in Canada.

2. Topic of conversation

Some students often complain that they can not have much English conversation time with Canadians. Students who make this kind of claim tend to be the ones with less English skills. It is virtually impossible for someone with very limited English conversational skills to carry out impromptu conversations with Canadians without any preparations.

You absolutely need to have “topics” for conversation. It is necessary for the English learner to come up with and make preparation for the topics. You will have to think of a topic, study it, expand and translate the thought into English, and memorize what you come up with and deliver it during the conversation.

Some of the topics for example can be Japanese cultural aspects, about yourself, about your family, or anything you can think of. **You may think through the topic and create explanations in Japanese first, then translate them into English** (Most of the students have better writing and reading skills than speaking skills). **Then try to memorize them by repeating them aloud** (your own writing is fairly easier to remember), and try that to your Canadian friends such as your host family. Then those Canadians will ask questions and/or speak about their opinions. **Because you are conversing with them using your own topic, you will find it is surprisingly easier to understand their English.** This is how the conversations should be. You can ask the Canadian to indicate English mistakes you made.

Now you have a good conversation topic written in perfect English. You can memorize them very easily. Then you should bring the topic to your school and talk about it with your foreign classmates, one at a time. After talking to 5 or 6 classmates, you will find that **all the sentences and phrases are totally absorbed in your body and become your flesh and blood.**

Simply crying for “more conversation” will not get you any results. **You must work hard and prepare.** You must find time for it, instead of staying up late at night on the internet and sleeping in during the weekend. **“Be prepared before you talk!”** Let’s not forget this!!